

謝 辞

全国溪流水質の調査は、多くの方に協力いただき行われたものです。久保井喬、井筒耕平、高橋冬樹、村山由布子、瀧田直晃、中根大補、正木佳伸、岡山和成、小川明、松岡達也、堀内信行、堀内征子、久松弘、山田裕子、篠田直子、田中友里の各氏には試料採取や処理を担当いただきました。さらに、調査全般について、新藤純子、吉岡崇仁、山下洋平、竹中千里、Kim Min-Sik、板谷明美、岡本勝男の各博士と㈱NIC環境システムの仁木義郎氏、牧内克史氏に御尽力いただきました。また、長野県のデータについては、信州大学理学部の菅野万理子、今井響子氏の御尽力により得られたものです。これらの方々に深くお礼申し上げます。

また全国溪流水質の調査は、環境省地球環境研究総合推進費（C-6 流域の物質循環調査に基づいた酸性雨による生態系の酸性化および富栄養化の評価手法に関する研究、研究代表者：新藤純子）、総合地球環境学研究所5-2IDEAプロジェクト（流域環境の質と環境意識の関係解明ー土地・水資源利用に伴う環境変化を契機としてー、研究代表者：吉岡崇仁）および文部科学省科学研究費（NO.15780113、研究代表者：木平英一）の一部として実施されたものです。

【引用文献】

小林 純（1971）

水の健康診断 岩波新書 No.777, 207pp, 岩波書店

木平英一・新藤純子・吉岡崇仁・戸田任重（2006）

わが国の溪流水質の広域調査 日本水文科学会誌 36(3)：145-149.

新藤純子・木平英一・吉岡崇仁・岡本勝男・川島博之（2005）

我が国の窒素負荷量分布と全国溪流水質の測定 環境科学会誌 15(4)：455-464.

戸田任重・椎名未季枝・山崎未月・菅野万理子・今井響子（2006）

長野県における溪流水・河川水の窒素濃度に及ぼす人間活動の影響

日本水文科学会誌 36(3)：117-122.